

評価項目及び評価基準・点数

評価項目

過去実績：配点20点

評価項目	評価の着目点		
①類似業務の実績	類似業務の実績により評価する		
	業務	評価する実績	配点
	ア 平成27年4月1日以降に、ビクターセンター、博物館などの展示学習施設の新設、改築、又は改修に係る基本構想、あるいは基本計画等の策定業務	A：3件以上	10
		B：2件	
		C：1件	
	業務	評価する実績	配点
イ CLTを使用した木造建築物、もしくはCLTを使用した木造と鉄骨造等との混構造の建築物に係る設計業務	A：3件以上	10	
	B：2件		
	C：1件		

提案内容等：配点80点

評価項目	評価の着目点	配点
②業務体制	<ul style="list-style-type: none"> 業務が遂行可能な人員が確保されているか (業務統括者は十分な経験を有しているか、専門家や有資格者が配置されているか) 役割分担や命令系統が明確かつ適切であるか 	15
③業務スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 業務が遂行可能なスケジュールが具体的に示されているか 業務の手順は合理的かつ適切か 	15
④業務への理解	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な考え方や方針を理解しているか 対象施設の特性や役割を理解しているか 基本計画に記載すべき内容を理解しているか 	20
⑤提案内容1 (プロセス等)	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画の策定に向けた検討プロセス (方法や手順) について、重視する点や配慮すべき事項は適切か 関係法令を考慮した上で、具体的かつ実現可能な提案となっているか 予算額の範囲内で実施できる独自の工夫や企画を具体的に提案できているか 	15
⑥提案内容2 (木材)	<ul style="list-style-type: none"> 県産木材を使用したCLTによるモデル的な建築物の提案となっているか 県産木材の調達や納期などを考慮した実現可能な提案となっているか 	15

評価基準・点数

基準	評価点数
①	
A	10
B	6
C	3

基準	評価点数	
	②、③、⑤	④
極めて優れている	15	20
優れている	12	16
普通である	9	12
不十分	6	8
極めて不十分	3	4

基準	評価点数
⑥	
CLTを構造材に使用	3 (基礎点)
CLTを構造材に加え、内装材や什器に使用	+3 (加算点)
実現可能性	+3 (加算点)
木材の特徴や良さを活かし、建築物の木造・木質化に波及効果がある	+1~+6 (加算点)
	最大15